

第10章 推進体制・進捗管理

10-1. 戦略の推進体制

戦略の目標達成のためには、県と市町村をはじめ、多様な主体が連携して取組みを進める必要があります。そのため、各主体の連携を強化し、効果的な施策の推進に努めます。

(1) 県における推進体制

カーボンニュートラルの実現に向けた取組みは様々な分野に関連し、庁内の多くの部局が関連しています。そのため、庁内に設置している「富山県カーボンニュートラル推進本部」において総合調整を図りながら、各部局がこれまで以上に緊密に連携・協働し、より実効性のある施策を推進します。

(2) 市町村との連携

カーボンニュートラルの実現のためには、産業構造や自然環境などに応じた取組みが効果的であり、県民と密接に関わり、地域の実情を熟知している市町村の役割が重要です。県と15市町村による「ワンチームとやま」連携推進本部のワーキンググループ「ゼロカーボンシティ富山の実現」をより進化させ、これまで以上に市町村と十分連携協力し、効果的に施策を推進します。

(3) 国との連携

エネルギー政策や革新的技術の研究開発、財政的措置など、国が担う部分が多いことから、国と緊密な連携を図りながら、必要に応じて地域の実情に応じた要望を行います。

(4) 多様な主体との連携

県民や事業者をはじめ、経済・民間団体など各種団体との連携を密にし、ライフスタイルや事業活動のあり方の見直しなど、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの輪が広がっていくよう努めます。

10-2. 戦略の進捗管理

- ・ 戦略の着実な推進を図るため、毎年度、温室効果ガスの排出状況及び施策の実施状況を公表します。
- ・ 富山県カーボンニュートラル推進本部に報告、市町村とも情報共有するなど、PDCAサイクルを適切かつ効果的に回します。
- ・ エネルギーをめぐる情勢など社会経済情勢は常に変化しているため、今後の国内外の動向等を踏まえ、必要に応じて短期間（概ね2年後。ただし、見直しの内容によっては、より早期に実施。）での改定を検討します。また、未設定の数値目標についても、可能な限り設定に努めます。